

おいでよ！！うつぐみの郷・夏

8月9日（金）～8月11日（日）

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	周辺散策・施設整地	お散歩タイム
2日目	遠足（海水浴）	休憩・周辺散策	まったりタイム
3日目	田んぼの草刈り	清掃・解散	

一日目： 夏本番の暑い中ですが、皆さん元気にお集まりいただきました。今日から三日間、田舎暮らしを体験していただきます。各場所から集まり、うつぐみの郷へ向かいました。街中から施設へ向かうにつれ景色も変わり、山の緑と夏空の青のコントラストがとてもキレイでした。施設に到着し昼食を済ませ、午後からは【選択プログラム】を体験していただきました。“施設周辺の草刈り”、“畑の肥料撒き”、“道路の舗装作業”からグループごとに選んでいただき、取り掛かりました。暑い中、はじめは嫌々にされる様子が時々伺えましたが、途中からは黙々と取り組んでおられる姿が勇ましかったです。夕食は食べきれないほど沢山用意したのですが、何度もおかわりをされ、余す事なく完食されました。夜はゆっくりと過ごしていただきました。夜の散歩に行くグループがあり、私達が暮らしている夜の街とは違い、とても静かで、灯りがほとんどないので暗く、少し不気味でしたが、星空は満天で、思い出に残るとても素敵な夜空を見ることが出来ました。



二日目： 昨夜は涼しく、寝付きやすかったです。まだまだ体力が余っているので、起床時間前からコソコソと話をしたり、転がったりしていました。起床後は洗面、着替えを済ませ、朝食準備に取り掛かりました。メニューは“オープンサンド”です。昨日の食べっぷりが今回も現れ、用意していた食材はキレイさっぱり無くなりました。食後は、清掃の【うつぐみタイム】です。感謝の気持ちを清掃にて表します。昨日の作業と同じく黙々と取り掛かっておられました。午前中は【海水浴】に出掛けました。この日の日本海は適度な波があり、迫力のある海水浴となりました。海に入るだけでテンションは上がり、疲れを知らず、休む事なく楽しんでおられました。海水浴を終え、施設に戻り、昼食を済ませた後はちょっと一休みをしました。室内で休む方もおられれば、施設の周辺に散歩に出かける方もおられました。施設周辺には鯉屋さんがあったり、酪農の牛がいたりし、初めて見る方にはとても新鮮に感じておられました。夕食は“流しそうめん”です。皆でセッティングをして、そうめんを流す人、受け取って食べる人に分かれて楽しく行いました。そうめん以外にもトマトやきゅうり、ゼリーなども流れてくるので、その度に歓声が上がりととても楽しそうでした。夜はみんなで花火をして盛り上がりました。この日の夜は海遊びや流しそうめんなど、楽しい事づくしだったのでそうとう疲れていたのでしょうか、すぐに寝息が聞こえてきました。



三日目： 朝は眠そうにされている方が多く、なかなか初動が遅かったように感じました。朝食をしっかりと食べた後は、TOPがお借りしている田んぼの整地に向かいました。五月に植えた稲はとても立派に育っており、穂も実っておりました。収穫は九月という事で、収穫がとても楽しみです。少しでも沢山の栄養を摂ってもらう為に周りの草を刈り取る作業をしました。夏はとにかく沢山生えるので、鎌を使って、ザクザク刈り取りました。草刈りで汗を沢山かいたので、シャワーを浴びてスッキリしました。昼食は夏野菜カレーです。カレーはみんな大好きとの事なので、何度もおかわりをさせていました。中には五杯もおかわりをされる方もおられました。最後に[うつぐみタイム・極]として、お世話になった施設を隅から隅まで徹底的にキレイに掃除しました。水回りの場所やトイレなども嫌がる事なく、率先して取り組まれていました。清掃後、施設にお別れを告げて、各地へ帰りました。帰りの車内は、疲れて休む方もおられれば、最後まで元気に談笑を楽しむ方もおられました。



<キャンプ総括>

今年の夏はとにかく暑く、うつぐみの郷も例外なく暑い三日間でした。しかし、その暑さに負ける事なく、皆一生懸命に取り組んでいただき、三日間無事に終える事が出来ました。初日に、私から「楽しい事だけは出来ない。皆のためを思って行動する事が結果として楽しい事に繋がるよ。」と皆に伝えました。そうすると、初日から意識を高く持ち、普段の生活やプログラムにおいて、いつも以上に真剣に取り組んでおられる姿を伺う事が出来ました。その【真剣具合】についてですが、一人一人頑張る具合は異なっており、それをこちらが定めるものではないと考えております。「ここまで出来たら…」とよく言われますが、そこまで出来ない方には大変大きな課題となります。人にはそれぞれのものさしがあり、それを知る事がその人へ贈る最良のアプローチとなると考えております。今回、様々なものさしを感じる事が出来ました。全体への指示と、一人一人への指示をしっかりと使い分けて取り組んで参ります。ご参加お待ちしております。 (竹中 哲郎)